

程度を事前検査する。

教育のまちづくりを目指して

【質 問】大分県豊後高田市の学力向上施策「21世紀学び塾」事業は、市を挙げたまちづくりの政策で展開されている。本区においても教育のまちづくりに取り組み考えは。
【区 長】「21世紀学び塾」は大変興味深い取り組みと認識している。今後も学校と家庭、



大田ひろし

(公明党)

行政評価制度の改善を求めて

【質 問】①外部評価結果の報告を2年後の予算に確実に反映できるよう、行政評価システムを改善せよ。②行政評価シートについて、事業経費の記載内容が区民に分かりやすくなるよう改善を。
【区 長】①24年度における行政評価制度の見直しの中で検討する。②何にどれだけの経費を使ったかが分かるように、標準例に準拠して記載するよう所管課に周知徹底した。

区民参加のさらなる推進を

【質 問】区民の声収集システムによって収集された声の中から、区民の政策提案として採用できそうなものについては、庁議に諮って採用を決定しているような区民政策提案制度の仕組みを作っては。
【区 長】庁内における区民の声の共有化をさらに進めながら、より良い政策実現につなげていく。

公共施設整備計画を問う

【質 問】公共施設整備計画

地域の多様な連携のもと、地域が支える板橋の教育の実現を目指していく。

【教育長】今後、子どもの健全育成や学力向上のために、学校地域本部を中心とした学校と地域との連携のあり方、区民の動機づけ、体制づくりなどについても検討する。

教員の職務負担軽減のために

【質 問】導入が検討されて

には施設の統廃合や適正配置の考え方が反映されていない。認識は。
【区 長】将来需要を見通した施設の適正配置や整備経費の年度間平準化が欠かせないと考えている。

高齢化社会に対応するために

【質 問】今後の高齢化社会の進展を考えると、地域包括支援センターには手厚い人員配置が必要と考える。見解は。
【区 長】人員を段階的に増やす。

認可保育園保育士配置定数の公私間格差を問う

【質 問】23区では公立も私立も分け隔てなく同じ保育士配置定数算定方法の区が主流。区における保育士配置定数の公私間格差を是正せよ。
【区 長】私立保育園の人員配置の充実については今後の検討課題とする。

※以上のほか、板橋区立小・中学校の適正配置に関する基本方針、24時間巡回サービス、聖域なき事務事業の見直しについて質問があった

いる校務支援システムの代表的機能は。

【教育長】成績管理、時間割や授業時間数の管理、児童・生徒の出欠状況や保健などの情報管理である。

学校トイレの洋式化を

【質 問】学校トイレの洋式化対象校数と必要な予算額は。
【区 長】洋式化率30%未満の24校を30%に引き上げるための経費は、約4千5百万と見積もっている。

通学路の安全確保のために

【質 問】教育委員会が通学路の安全見直しを主導せよ。
【教育長】スクールゾーンについては、各学校に対して要



はぎわら洋一

(公明党)

チャレンジ就労の推進を

【質 問】チャレンジ就労として区役所や区施設で臨時雇用している障がい者について、経過報告と今後の取組みは。
【区 長】区では21年10月以降、知的障がい者7名、精神障がい者6名を雇用した。24年度は図書館でも雇用を予定している。今後もチャレンジ就労を通じて障がい者の就労を支援する。

CO2削減のために

【質 問】リース車や全区有車をCO2排出量が少なく燃費性能の高いクリーンディーゼル車に変更しては。
【区 長】今後、クリーンディーゼル車が低公害車や指定低公害車に指定されることとなった場合は、車の入れ替え

望調査を行い、必要があれば改善に向けた取組みを警察や関係部署に働きかけていく。



板橋二小のスクールゾーン

※以上のほか、待機児対策、いたばしNo.1実現プラン、リサイクル再利用計画、区民事務所・地域センター機能、地域問題について質問があった



松崎いたる

(共産党)

板橋から平和のメッセージを

【質 問】自衛隊レンジャー訓練が今後常態化しないように国に求めよ。
【区 長】区民生活に影響を与えないように申し入れる。

公平な税負担の実現を

【質 問】億万長者や巨大企業こそ、税負担をすべきと考えるが区長の見解は。
【区 長】①防災拠点や区民

【区 長】特定の者に税負担を求めるのは、適切でない。経営革新計画に区民の声を

【質 問】①巨額の費用が必要な南館改築は一度中断し、計画再検討を。②景気回復で税収増を目指すべき。区の方

向性は。③区内産業の流出防止に、中小企業への助成が必要。産業関連予算の増額を。



小林おとみ

(共産党)

厳しい高齢者の生活に支援を

【質 問】①医療費や各種保険料の負担のため、最低生活費以下で生活する高齢者がいる。区長の見解は。②高齢者には、最低限の生活を保障する支援を行うべき。③後期高齢者医療での短期証発行や保険証の保留は止めよ。④介護保険料のさらなる軽減を。⑤区による生活援助ヘルパー派遣事業の実施を。⑥低所得の高齢者に家賃助成を。

【区 長】①経済状況が厳しい高齢者は少なくないと認識。校関係者との会議体を立ち上げる予定である。協議ではそれぞれの役割や責務を明確にし、3日分を目安とした食料や飲料水の備蓄、徒歩帰宅者の発生抑制、駅構内で待機する帰宅困難者への支援体制の確立など、発災時の具体的な対策について25年4月1日ま

【質 問】①本町児童遊園への消防水利の整備など、木造密集地の防災機能向上を。②エレベーターの停止などは高層住宅の住民には大きな課題区による対策を。③軟弱地盤や液状化の危険地域を調査し、区民への周知と対策を。

【区 長】①消火栓から取水できるスタンドパイプの配備

でに検討する。
※以上のほか、板橋の消防団への入団促進のために、給食費未納、介護時間の延長受け入れ、障がいを持つ人への施策、名作童謡を作詞した「清水かつら」のころについて

質問があった

サービスの向上のため早期に実現する。②生産年齢人口の増加と定住の施策研究に取り組み。③可能な支援策を講じる。

原発ゼロに向けた取組みを

【質 問】①区は原発再稼働反対の意思表示を。②東京電力(株)の電気料金値上げに反対の意思表示を。③区施設を避暑地として区民に開放し、熱中症対策と地域全体の節電を。

【区 長】①放射能のリスク、電力不足の影響、原発所在地の住民合意などを考慮して判断する。②値上げの回避または値上げ幅最小化を東京電力(株)に強く要望した。③区施設

促進をする。②マンシヨンの防災意識啓発に取り組み。③区民への情報提供と地盤対策を検討する。

止を。②小規模校の下限人数を示さない理由は。③小規模校には、区として支援を。④安易な学校統廃合はあってはならない。教育長の見解は。

【教育長】①より良い制度を検討する。②風評や保護者の不安を招くため、数値を示さないこととした。③保護者や地域の要望に可能な限りこたえる。④統廃合にあたっては、関係者の合意形成を図る。

※以上のほか、生活保護、働く権利の保障、障害者の生き残る権利の保障、保育の公的保障、教育相談所、東板橋体育館ブロック改修、板橋四丁目のあずま橋について質問があった



佐藤としのぶ

(民主党)

子どもたちの幸せのために

【質 問】①学校選択制は廃



本町児童遊園

りまで行えるデイサービス施設や事業者の誘導を。③障がいを持つ方が緊急時に宿泊できる施設が不足している。様

【質 問】①脳血管系疾患の慢性期の入院患者に対し、支援や制度の改善を。②リハビリ

(8面に続く)